

目 次

I	序 言	
1	調査の経緯	1
2	調査位置と周辺の調査	1
3	課題	4
II	遺 構	
1	周辺の条坊関係遺構	6
2	第81次調査の遺構	8
III	遺 物	
1	土 器	13
2	瓦	26
3	銭貨、金属製品、木製品、その他	28
	付 花粉分析	33
IV	まとめ	38

挿図目次

fig. 1	調査地の位置と条坊	fig. 11	S D 6801・6802・S E 6810・S E 7244・ S K 7236・S E 7240・S K 7238出土土器
fig. 2	第81次調査区位置図	fig. 12	S E 7243・7237出土土器
fig. 3	第60・65次調査遺構図	fig. 13	円面硯
fig. 4	第64次調査第9区遺構図	fig. 14	軒瓦・熨斗瓦
fig. 5	周辺の調査位置図	fig. 15	金属製品・木製品・鹿角製品
fig. 6	第81次調査遺構図	fig. 16	黒漆塗木柄付刀子実測図・X線写真
fig. 7	S E 8690出土土器	fig. 17	石製品・埴塼
fig. 8	S E 8689・8650出土土器	fig. 18	花粉組成図
fig. 9	S E 8664・8665出土土器		
fig. 10	S E 8685・S K 8686・S B 8670出土土器		

表 目 次

tab. 1	右京一条一坊南西坪の建物・堀一覧	tab. 3	寄生虫卵分析結果
tab. 2	右京一条二坊東北坪の建物・堀一覧	tab. 4	花粉分析結果

図版目次

PL. 1	第81次調査区全景	PL. 7	1、2、3 井戸S E8664
PL. 2	1 調査区全景（北西上空から）	4	大土坑S K8667（北から）
	2 西区全景（南から）	5	井戸S E8689（北東から）
PL. 3	1 西区南半部（東から）	PL. 8	S E8690・8689出土土器
	2 西区北半部（東から）	PL. 9	S E8664・8665・8650出土土器
PL. 4	1 建物S B8675（北から）	PL.10	S E8650・8689・8690出土土器
	2 建物S B8670（北から）	PL.11	S E8664・8665出土土器、土馬
PL. 5	1 東区全景（南から）	PL.12	軒瓦、木製品及び黒漆塗木柄付刀子
	2 溝S D8658・8659（東から）	PL.13	金属製品、銭貨、鹿角製品、石製品
PL. 6	1 井戸S D8690（東から）		
	2 溝S D8655西半部（西から）		

例 言

- 1 本書は、橿原市醍醐町443番地において実施した、藤原京右京一条一坊の発掘調査の報告である。
- 2 調査は、株式会社邦清による店舗増築に伴う事前調査として、奈良県教育委員会の委嘱を受けて、奈良国立文化財研究所飛鳥藤原宮跡発掘調査部が実施した。
- 3 調査は東区と西区に分かれ、面積は合わせて1270㎡である。1996年6月12日に開始し、9月20日に終了した。
- 4 調査には、主として毛利光俊彦、寺崎保広、花谷浩、荒木浩司があたり、中川明、森本奈穂、長谷川葉子、上山泰史、飛ヶ谷潤一郎、江上徹英の協力を得た。
- 5 調査にあたって、奈良県教育委員会と株式会社邦清の協力を得た。
- 6 本書の作成は、部長猪熊兼勝の指導のもと、調査部全員があたり、全体の討議を経て、以下のように分担執筆した。Ⅰ寺崎保広、Ⅱ-1島田敏男、Ⅱ-2寺崎、Ⅲ-1荒木浩司・西口壽生、Ⅲ-2毛利光俊彦、Ⅲ-3松村恵司、Ⅳ寺崎。なお、Ⅲ-付の寄生虫卵と花粉分析は古環境研究所に委託し、その分析報告を掲載した。
- 7 遺物・遺構の写真は、井上直夫が担当し、中村一郎が協力した。石器の実測・トレースは、水戸部秀樹が行なった。
- 8 編集は寺崎保広が担当した。